

# 宇和島に娯楽施設を作る

2年1組 松本 大輝      2年2組 北川 奏駕  
指導者 山本 鷹裕

## 1 課題設定の理由

南予地域には、東予地域、中予地域と比較して娯楽施設が少ない(表1)。そのため休日に遊びに行くためには、松山などの遠方に出かける必要がある。そこで私たちは、宇和島東高校の生徒がどのような娯楽施設地域に臨んでいるかアンケートを取った。128人が回答し以下の結果になった(図1)。この結果から多くの生徒が映画館を求めていることが分かった。よって私たちは、宇和島で映画を見ることが出来る場所を提供するために本提案を行った。

表1 愛媛県各地域娯楽施設数

|    | 映画館 | カラオケ | ボウリング |
|----|-----|------|-------|
| 東予 | 3   | 12   | 4     |
| 中予 | 4   | 19   | 8     |
| 南予 | 0   | 7    | 2     |

愛媛県カラオケ協会加盟店、映画.com、Mapfanより作成

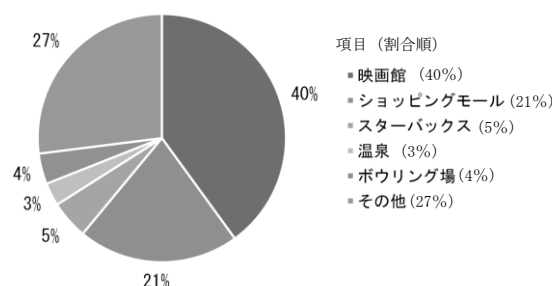


図1 宇和島東高校の生徒が望む商業施設

## 2 考察

### (1) 使用施設

当初、空きテナントなどを利用して宇和島市に新しく映画館を建設しようとした。しかし、映画館の建設には、初期費用が大きく現実的ではなかった。そこで私たちは、南予文化会館に目を付け、南予文化会館で映画を見られるようにしようと考えた。また、南予文化会館の大、中ホールの直近6か月の使用状況を調べると、月によって大きく変動はあるが、平均5回程度しか使われていないことが分かった。よって南予文化会館を現在より有効活用できると考えた。

### (2) 映画使用料

表2 南予文化会館ホール使用料

|            | 平日 全日   | 休日 全日   | 冷暖房料      |
|------------|---------|---------|-----------|
| 大ホール 1234席 | 56,460円 | 64,150円 | 5,000円 毎時 |
| 中ホール 698席  | 29,930円 | 35,640円 | 4,000円 毎時 |

他映画に必要な設備料(全日)・37,851円 ※全日・午前9時～午後10時 (12時間)

表3 入場料をとる場合 南予文化会館 費用量

|                      |         |
|----------------------|---------|
| 入場料500円以下の場合         | 入場料の30% |
| 入場料500円を超え1000円以下の場合 | 入場料の50% |

映画を上映するためには、配給会社と呼ばれる制作会社と劇場の間を管理運営する会社や個人と契約する必要がある。そこで私たちは、実際に映画館を運営している「ほとり座」代表の田辺さんに話を聞くことにした。田辺さんによると、配給会社と劇場の売上は折半することが分かった。中には、制作会社と直接契約をしているところもあるが、私たちは様々なジャンルの映画を上映したいと思っていため、この契約方法は考えないものとした。

### (3) 映画上映時間・費用・料金

ア 上映スケジュールは表4の通りとする。

表4 上映スケジュール

| 時  | 9～11 | 11～12 | 12～13 | 13～15 | 15～17 | 17～18 | 18～20 | 20～22 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 内容 | 映画①  | 準備    | 映画②   | 準備    | 映画③   | 準備    | 映画④   | 片付け   |

※平日は仕事などに従事している人が多く、集客率が低くなると考え、上映する日は土曜日・日曜日・祝日とする。

※集客率が高くなるように観客動員数が多い映画を主に上映する。

イ 1日にかかる費用(表2、3より計算)

中ホール+休日+全日+映画に必要な設備+冷暖房料(上映中のみ)

35,640円+37,851円+4,000円×8時間=105,491円

ウ 入場料 見込み

エミフル シネマサンシャインなどに比べ、周辺の環境やサービス等が劣っていることから、集客数を上げるためには、入場料を下げる必要があると考え、表5の通り設定した

表5 入場料

|        | エミフル シネマサンシャイン | 宇和島 南予文化会館 |
|--------|----------------|------------|
| 一般・大学生 | 1,900円         | 1,000円     |
| 高校生以下  | 1,000円         | 800円       |

一般・大学生が入場した場合、入場料の50%が南予文化会館の収益となることから、売上は500円となる。観客一人当たりの粗利は、配給会社との折半で、250円となる。105,491円以上の利益を出さないと黒字経営できないため、 $105,491円 \div 250円 \approx 421$ より、最低421人以上の入場がないと純利益が生じないことが分かる。映画1回につき105人の入場が必要である。また、高校生以下の場合には利益が200円であることから、 $105,491円 \div 200円 \approx 527$ より、527人の観客数を超えないと純利益が生じない。これは、映画1回につき131人に相当する。

### (4) まとめ

今回は、宇和島に映画館を作ることについて考察した。その結果、南予文化会館を使用することにより、愛媛の他の映画館より料金を抑えることができた。また、1日に500人前後の入場者を得ると純利益が生じることから、十分成り立つ可能性のある商売だと考えた。

## 5 今後の課題

実際には、人件費などによりさらに支出が増えると予想できることから、さらに売上を出すために出店などを考える必要があると考える。また、映画館の入場数を増やすためにもどのように地域の人に知ってもらうかが重要だと思う。また、南予地域のさらなる発展のためにもコスト以外の面で魅力を生む必要があると考える。

## 謝辞

本研究を進めるにあたりひとり座代表の田辺様に情報の提供を頂きました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

## 参考文献

- ・「愛媛県カラオケボックス協会」 <https://www.jkba.or.jp/kamei/list/ehime>
- ・「映画.com」 <https://eiga.com>
- ・「Mapfan」 <https://mapfan.com/>